



園田中だより

さとく・
うつくしく・
たくましく

No. 5

尼崎市立園田中学校
TEL 06-6491-0775
令和2年7月6日
(文責 澤嶋 伸)

園田中学校ホームページ : <http://www.ama-net.ed.jp/school/j20/>

みんなと一緒に

学校が再開して一カ月が過ぎました。そろそろ自分のことだけでなく、周りの友だちのことも考えて学校生活を送っていきましょう。

そこで、昔話の「桃太郎」について、考えてみましょう。

むかしむかし、あるところに、おじいさんとおばあさんが住んでいました。おじいさんはしばかりに、おばあさんは川にせんたくに行きました。

「桃太郎」の冒頭です。おじいさんとおばあさんに大切に育てられ、自分でも日本一力が強いと思った桃太郎は、いつかその力をみんなの役に立てたいと思うようになります。そして、遠い海の果てにある鬼ヶ島に住む鬼を退治することを決意します。桃太郎、十五歳の時です。犬、サル、キジをお供に連れて、鬼ヶ島へと向かっていく途中、広い海に出ます。桃太郎とお供のものたちは近くにあった船に乗り込みます。それぞれが役割を分担し、犬は舟をこぎ、サルはかじを取り、キジは船のへさきで物見をします。鬼ヶ島に到着し、いよいよ鬼退治です。鬼たちは太い鉄の棒を振り回しながら桃太郎に襲いかかります。キジは空から鬼の目を突き、犬は鬼の向うずねにかみつき、サルは鬼の体に飛び乗って顔を引っかき、最後は桃太郎が自慢の力で鬼を投げ飛ばします。こうして桃太郎たちは次々と鬼を倒していくのです。

なぜ、桃太郎たちは鬼を退治できたのでしょうか。桃太郎が四人でかかっても鬼は退治できなかったでしょう。桃太郎一人と犬三匹でも、桃太郎一人とキジ三羽でも鬼は退治できなかったはずです。



桃太郎、犬、サル、キジにはそれぞれ個性があり、長所（強み）があります。みんなで一致協力し、その長所を存分に発揮したからこそ鬼を退治できたのです。桃太郎を読み返してみると、様々な大切なことを私たちに教えてくれます。立志すること、課題解決のため協働で事に当たること、違いを認め、多様性を尊重すること、個性（長所）を生かすこと、人の役に立つこと……。

桃太郎軍団と同様、多様な個性がそれぞれの良さを発揮し、助け合い、支え合いながら成り立っているのが社会です。どこを切っても同じ顔が出てくる金太郎あめのような人ばかりでは社会はうまく回らないのです。教育とは、個々の生徒の良さ（可能性）を見抜き、引き出し、磨き上げる営みです。学校とは、違う個性を持つもの同士が互いに認め合い、高め合う場所です。園田中学校も、豊かな個性の集まりです。互いに切磋琢磨する学校でありたいですね。

これからもみんなでがんばりましょう。



日程変更のお知らせ

臨時休校による授業の遅れを取り戻すため、次の通り変更します。

3学期始業式 1月 6日（水）

※今後の新型コロナウイルス感染拡大状況の変化により、スケジュールが変更となる可能性があります。ご了承ください。

牛乳パック回収にご協力ください !!

尼崎市ひとさき施策推進部から中学生でも、社会貢献することができる機会をいただきました。生徒会中心に、リサイクル運動を推進している業者と協力し牛乳パックを回収します。月に1回、朝礼のある週に回収をします。

7月の回収日は、7月27日（月）～31日（金）です。

よく洗い乾かして回収ボックスに入れてください。

何かと手間がかかり大変だと思いますが、ご協力よろしくお祈いします。